

NUMATA

2016.12.22Vol.605
広報ぬまた 1月号

賀正



沼田町では232人が酉年生まれます。
沼田小学校5・6年生の児童と先生の酉年
生まれが集まって、思い出の写真をパシャ!!

謹賀新年

年頭のご挨拶

沼田町長 金平嘉則

新年、明けましておめでと〜ございませす。日頃より町行政運営に対しご理解とご協力をいただきありがとうございますことに、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、新たな地域医療の充実となる「町立沼田厚生クリニックス」の開設、保育と教育が一体となった「認定こども園」の開園を行い、課題でありました地域医療及び幼保一元化など、まだまだ十分ではありませんが一定の解消がなされたことと思います。

本町の基幹産業であります農業につきましては、春先からの天候不順により生育が停滞し、遅れが生じ心配していたところではありますが、夏以降の好天候により生育も回復し、水稲・畑作共に平年並みの収量・品質となり、実りの秋を迎えることが出来ました。

国内外の農業情勢に目を移しますと、TPP「環太平洋戦略的経済連携協定」においては、米大統領選の結果に伴い条約の発効が不透明な状態となっていることや政府が推し進めている農協改革、平成30年産から実施されると言われている米政策の見直しなど、今後の国の農業政策の予測が困難な状況が生じております。このような国の農業政策が大きく転換しようとしているなか、本町においては、昨年スノークール・フェイス・ファクトリー

色彩選別機の更新を行い高品質・良食味米の安定出荷により、今後とも消費者の信頼に応える安心・安全で高品質な農産物の安定供給を目指し、本町農業の持続的発展のため農業者並びに関係機関・団体と連携し対策に努めてまいります。

本年は、本町にとりまして「商業」ミニ二ティ中核施設」及び「地域密着多機能型総合センター」が竣工しそれぞれオープンを迎えます。両施設とも町民皆様方と意見交換を経て計画された農村型コンパクトエコタウン構想の中心的施設であり、10年後を見据え町民皆様が「安心して暮らせるまちづくり」に今後とも努めてまいります。

少子高齢化と過疎化が進む環境は、町政運営にとって決して容易なものではなく、昨年末に報道がなされたJR留萌線に関するJR北海道の方針など、課題が山積みする中、本年が「暮らし続けられるまち」への礎となるよう町民皆様と一丸となって、取り組んでいくことが必要と考えておりますので、引き続き一層のご協力ご支援をお願い申し上げます。

平成29年が町民皆様にとって健康で充実した1年となることを心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

沼田町議会議長

渡邊敏昭



平成29年の新春を迎え、議会を代表し謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

町民皆様には、日頃から議会活動に對しまして、暖かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、基幹産業の農業が、春先からの天候不順により生育が停滞し、遅れが生じたところでしたが、夏以降の天候に恵まれて生育も回復し、水稻、畑作物共に平年並みの収量となりました。しかし、道内においては8月に台風が相次いで上陸し、集中豪雨に伴う河川の氾濫などにより全道各地で甚大な被害を及

ぼし、住民の暮らしや経済活動に多大な影響を及ぼしました。災害からの迅速な復旧を願うとともに、今後の防災対策の重要性を改めて再認識した1年でもありました。

さて、今年、わが町では多くの議論を重ね進めてきた「地域密着多機能型総合センター」と「商業コミュニティ中核施設」がいよいよオープンします。町民が将来に向けて安心して暮らし続けられるまちの実現に向けて、愛される施設として運営されることを期待するところであります。

少子高齢化による人口減少等により、JR留萌線の問題等、沼田町を取り巻く環境は厳しい状況であります。議会といたしましては住民の声を集め、意見反映に取り組みとともに、今後とも国政政策や町政課題を要望書や意見書にまとめ、内閣や関係部局に提出し実行運動を続けてまいります。

今年も町民の付託に応えられる様、努力することを誓うとともに、皆様方からご指導いただきますことをお願い申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

沼田消防団長

大原正己



新年明けましておめでとうございませう。

町民の皆様には、平素から消防運営の円滑な推進にご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は沼田町で2件（12/7現在）の火災発生がありました。が、深川地区消防組合管内の火災発生件数も14件と前年（17件）の発生件数を大きく下回っております。このことは地域住民の防火意識の高さであり、今後とも火災発生を未然に防ぐためにも火災予防に対する啓蒙を行うと共に、万が一の被害を最小限に抑えるよう住宅用火災警報器の

設置促進及び適正管理に努めてまいります。

さて、昨年の全国各地における災害状況を顧みますと、4月の最大震度7を記録した熊本地震、8月の北日本を中心とする豪雨、さらには9月の西日本から東北にかけての広範囲にわたる台風などの自然災害により、多くの人命と貴重な財産が失われるなど、甚大な被害が発生した一年となりました。

このように全国各地で発生する自然災害や火災などにより、安心・安全に対する町民の関心は一段と高まりを見せて、我々消防団に寄せられる期待はますます大きくなっております。

消防団といたしましては、各事業所、町内会自主防火組織などと協力し合い総合的な地域防災力の充実・強化を図り、町民の安心・安全を守るため全力を挙げて取り組んでまいります。

結びに、本年が災害のない平穏な年でありませうと、皆様にはご家族とともに健やかな良い年でありませうとを祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

沼田警察署長

岡田 勝博



新年あけましておめでとうございませう。

平成29年の輝かしい新春を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。

沼田町の皆様には、平素から交通安全、暴力追放、青少年の健全育成のほか、犯罪の予防のための諸活動に対して多くの方々に御参加をいただき、心温まる励ましや御支援、御協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年の治安情勢を振り返りますと、当署管内の刑法犯の認知件数も一昨年に続き減少

し、役場をはじめ各関係機関や団体、町民の皆様との連携、協働により交通死亡事故ゼロの日も更新を継続しているところでもあります。

しかし、隣接する警察署管内では、強盗などの凶悪犯罪をはじめ、交通死亡事故や高齢者の特殊詐欺被害が発生しており、警察を取り巻く諸情勢は楽観を許さない状況であります。

このような情勢を踏まえ、北海道警察の基本理念であります「犯罪や事故のない安心して暮らせる北海道の実現」に向け、本年は警察組織の体制が変わりますが、職員一丸となつて地域の治安維持に邁進する所存でございますので、本年も温かいご支援を賜りますようお願いいたします。

結びに、皆様の御健康と御多幸を心から御祈念申し上げます。年頭の御挨拶とさせていただきます。

沼田警察支処長兼
沼田分屯地司令

井野 清二



あけましておめでとうございませう。

沼田町の皆様には、希望に満ちた新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、日頃から陸上自衛隊へのご理解並びに沼田分屯地に勤務する隊員に対する温かなご支援ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

昨年は、南スーダンにおける国際平和協力活動のために、北海道から部隊が派遣され、約半年間の任務を終えて無事帰国することができました。また、国際平和協力活動時における自衛隊に対して新たな任務が付与さ

れ、自衛隊に対する期待の重さを改めて感じる年となりました。

また、国内においては4月に発生した熊本地震や、8月に立て続けに北海道に襲来した台風など大きな自然災害が発生し、建物の倒壊や河川の氾濫等、甚大な被害をもたらしました。

このような中で、沼田分屯地としましては、ますます高まる国民の期待に応えるべく、北海道防衛の任務はもちろんのこと、様々な任務にも確実に対応できるよう練成訓練を積み重ね、その成果を蓄積して、各種事態に適切に対処できるよう努力して参る所存です。

また、夜高あんどん祭りなどの地域活動に積極的に参加させていただくことにより、皆様との連携のより一層の強化を図つてゆきたいと考えております。

結びに、本年も沼田分屯地に対する変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。とともに、皆様のご健康とご多幸を祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

輝く未来のために

沼田長生クラブと懇談会

11/14

11月14日(月) 沼田町長生クラブ(野道夫会長)と町との懇談会が開催されました。

長生クラブから事前に出された質問事項について意見交換を行い、降雪が目前に迫り、除排雪に関する質問やほろしん温泉ほたる館の現状に関する質問、沼田厚生クリニックに関する質問など、幅広い議題について意見交換が行われました。



沼田農業を背負う

若手農業者海外視察研修に参加

11/14

11月14日(月) 須網敬亮さん、加藤勇樹さんが沼田町農業者人材育成事業を活用して空知管内JA青年部海外農業事情視察研修(アメリカ)に参加した報告を伝えるため、金平町長を訪れました。

この視察研修は、海外の大規模経営の実態や経営事情、営農技術を現地視察し、自らの経営に役立てる為実施されています。報告の中で、アメリカ農業の規模の大きさや「日本のお米の質の高さから、意外にもTPPに反対している人が多く、日本のお米の価値を再確認しました。今回の研修を今後自分達の営農に生かしていきたい」と話されていました。



▲左から加藤勇樹さん、須網敬亮さん

自分たちでつくったお米で!

い いただきファーム開催

11/17

11月17日(木) 沼田小学校(元木和芳校長)で食育事業として、「いただきファーム」が行われました。

この「いただきファーム」はJA北いぶき青年部沼田支部の主催で毎年行っています。

今年は沼田小5年生が、5月に田植え、9月に稲刈り、10月に脱穀・粳摺りを行ったお米を使い、JA北いぶき青年部のみなさんに指導を受けながら、沼田で作られた野菜を使った豚汁や自分たちで作ったお米でおにぎりを作りました。

豚汁を作る合間にはJA北いぶき青年部による学習会が行われ、「どうして沼田のお米は美味しいのか」、「お米以外の有名な農産物はなにか」など、クイズを交えながら農業について学びました。

その後、豚汁と自分たちで作ったおにぎりを食べ、会場からは「おいしい!」との声が聞かれ、何度もおかわりする児童もおりました。





本を身近に感じられるように
図書館フェスティバルの開催

11/
20

11月20日(日) 図書館フェスティバル(同実行委員会主催)が開催されました。

本を親しむことを目的として毎年開催されており、古本市や図書館ボランティアによる人形劇や、わなげ、射的などのミニゲームコーナーなどが設けられました。

今年は、こども応援団による紙芝居や二胡サークル「牡丹花」から演奏会の協力もあり、たく



さんの参加者が本に触れ楽しい時間を過ごしました。

また、大型絵本の読み聞かせや図書館クイズラリー、ポスターコンクール等の表彰式と「本を読もうよキャンペーン抽選会」が行われ、大いに盛り上がりました。



音楽を通して健康に
いきいき大学 講演会

11/
21

11月21日(月) ゆめつくるで、いきいき大学の講演会が行われ、55名が参加しました。

今回は滝川市でカラオケ歌謡研究会の代表をされている梅澤秀明さんをお招きし、講話や懐かしい昭和の名曲のピアノ演奏をしていただきました。思わず口ずさむ参加者の姿も見られ、楽しい「ピアノトークショー」の時間となりました。

梅澤さんは現在81才。60才を過ぎた頃からピアノを練習し始めたそうで「やる気になれば年齢は関係ない」と同年代のいきいき大学生たちに力強いエールを送ってくださいました。



永年勤続の皆さんを表彰

11/23

沼

田町商工優良従業員表彰式

11月23日（水）沼田町商工会主催の優良従業員表彰式が、観光情報プラザで開催され、3事業所計8名が表彰を受けました。

また、特に模範的従業員として北空知輸送（株）の竹田輝利さんが、沼田町長表彰を受けました。

表彰式冒頭の挨拶で吉住淳男商工会長は「地方は人手が不足している状況が続いている。そのような中で、それぞれの事業所で働いていただけているのは素晴らしい事、これからも健康に留意して長く働いて下さい。」と話しました。

最後に受賞者を代表して町長表彰を受けた竹田さんが「身に余る光栄で仕事をする上で、大変励みになります。今後とも誠心誠意働き、会社の発展、町の発展につながるよう頑張りたい。」とお礼の挨拶がありました。



▲金平町長から表彰を受ける竹田輝利さん

表彰者

★5年以上

芳賀 光司氏（渡部建設株式会社）

曾我 寛氏（渡部建設株式会社）

宮野 禎則氏（渡部建設株式会社）

★15年以上

坂上 博氏（株式会社沼田開発公社）

★25年以上

川村 孝幸氏（北空知輸送株式会社）

★30年以上

阿部 健一氏（渡部建設株式会社）

竹田 輝利氏（北空知輸送株式会社）

★35年以上

村井 尚久氏（株式会社沼田開発公社）

★沼田町長表彰

竹田 輝利氏（北空知輸送株式会社）

子

みんなで楽しい食たく

育て支援「みんたく」の開催

11/25

11月25日（金）子どもたちに夕食や居場所を提供する「みんなで食卓～みんたく～」が開催されました。

この事業は、子育て支援の一環として働くお母さんの負担を軽減することを目的に行われ、沼田小学校の児童56名が参加し、子ども達は将棋やオセロゲームで遊んだ後、JA北いぶき青年部沼田支部が米や野菜を提供し、食生活改善協議会のメンバーが調理したカレーライスが準備されると、みんなで食べる夕食を夢中でほおばっていました。

参加した児童らは「友達と遊んで、一緒に食べるのは楽しい」と話していました。



移

留萌市より転入された河淵さんへ
住定住応援奨励金の交付

11/
28

11月28日(月) 留萌市より3町内に新築住宅を建てた河淵将之さんへ、移住定住応援奨励金の授与式が行われ、年齢加算・子育て加算を含め交付しました。

河淵さんは、奥さんと1歳になる娘さんの3人家族で沼田町に移住をしてくださいました。「年齢的に家を建てるには今しかないと思った。どこに建てようかと考えた時、旭川に転勤になった場合のことを考え、ちょうど真ん中である沼田町が候補となった。奨励金や子育てへの支援が充実していることが決め手となり沼田町に新築する事を決めました。」と話しておられました。



▲金平町長から交付を受ける河淵将之さん

認

元気に歌・遊戯を披露
定子ども園で初めての発表会

12/
3

12月3日(土) 今年4月に「認定こども園」が開始されて、初めての発表会が行われ園児たちは元気に歌や楽器演奏・遊戯を発表しました。

最初の歌では園児全員で元気に歌ったあと、土肥園長から「第1回の子ども園の発表会、園児達がどうい発表をしてくれるか、ドキドキワクワクです。開園して7ヶ月が過ぎ、入園時はヨチヨチ歩きだった子が歩くまでになったなど、色々な子ども達の成長を見てきました。今日は園児達の頑張っている姿・成長した姿を



覧いただきたい。」と挨拶されました。

各組による楽器・遊戯が行われ、最後は園児全員によるオペレッタ(台詞、踊りのある劇)で「三匹のやぎのがらがらどん」を披露。保護者、おじいちゃん、おばあちゃんから多くの拍手が送られていました。

旭 認定子ども園園児が 寿園・和風園で発表会

12/
6・13

沼田認定こども園の4歳と5歳の子どもたちが、6日(火)旭寿園・13日(火)和風園で歌や踊りを披露しました。

最初はこどもたち皆で「やきいもグーチーパー」や「山の音楽家」を元気よく歌いました。その後、4組に分かれたこどもたちから、流行のアニメなどのテー



マソングに乗って踊りが発表され、会場からは「めんこいなー！」などの声が聞かれました。

最後にこどもたちが、おじいちゃんやおばあちゃんに、ひとりひとりお礼を言って握手をし、和やかな中での発表会となりました。

フ 素敵な音色を奏でていました ファミリーコンサート開催

12/
10

12月10日(土) 4回目の開催となるファミリーコンサート(沼田吹ガールズ主催)がゆめっくるで開催されました。

音楽を通して、地域の親子が気軽にふれあい交流する場を提供しようと、子育て支援センターなどの協力を得て行われ、沼田認定こども園児の太鼓演奏や小学校スクールバンド・中学校の吹奏楽部も参加し、合同で「スターウォーズ」演奏するなど会場に訪れた観客を喜ばせていました。



門松で新年を !!

平成24年に、福島県から本町へ移住された原田幸寿氏（東予）が前職の技術を生かし、正月飾りの門松を製作しました。

原田さんは、福島県で15年間造園の仕事に従事し、毎年年末に門松を製作していたこともあり職人の腕を生かし、門松を製作しました。今回製作した門松は約30個、材料の竹を本州から取り寄せ、竹を磨きつやを出し、竹を組み合わせる作業等を行い製作しました。

役場住民生活課総合窓口カウンターに飾っておりますので、来庁された際は、是非お立ち寄りいただき室町時代から伝わる日本の伝統文化をご覧ください。



表彰

絵内勝己氏が社会貢献賞を受賞

絵内勝己氏（北竜3）が北海道社会貢献賞（自治功労者）を受賞されました。

絵内氏は平成11年、町議会議員に初当選。平成27年4月まで4期にわたり豊富な経験と卓越した識見をもって、住民と行政のパイプ役として、豊かなまちづくりと地方自治の発展に貢献されていることや、本町の基幹産業である農業の振興を図るため、農業政策の提言や農業施設の整備充実に腐心され、農業者と行政、議会の調整に尽力された。

また、平成8年から保護司となり就業支援センター開所後は入所者の更生のため、農作業体験の受け入れ等を行い、指導や援助等少年の社会復帰に向けた活動など、数多くの功績が認められ今回の受賞となりました。



表彰

沼田ライオンズクラブ
沼田町養護老人ホーム和風園

献血功労団体に対する表彰を受賞

沼田ライオンズクラブ（前川満志会長）、養護老人ホーム和風園が、献血功労団体として日本赤十字社北海道支部から表彰を受けました。

沼田ライオンズクラブは、献血車来町時に、献血実施者へ粗品を配布する等の活動、和風園は、献血場所の提供など、2団体の長年にわたる積極的な献血推進活動の実施が評価されて受賞されました。



▲ライオンズクラブを代表して金平町長から表彰を受ける高橋節夫さん（幹事）

民生委員・児童委員

生活のこと…

家族のこと…

行政とのパイプ役

が任命されました！

悩みを抱えず

お気軽に地区の委員にご相談を！

【委員任期 平成 28 年 12 月 1 日～平成 31 年 11 月 30 日】

※記載されている行政区は各委員の担当地区です。



委員 橋本妙子
市内1東・北・南
電話 35-1155



委員 植田秀雄
市内2・3・4・南町
電話 35-2400



委員 中野忠幸
市内5・6
電話 35-1202



委員 高野欽也
市内7・緑ヶ丘
電話 35-2728



委員 石川晶子
旭町西
電話 35-3418



委員 柏博孝
旭町東
電話 35-3424



委員 吉田由比己
仲町東・西
電話 35-1661



委員 前川満志
沼田1・3・4・西町
電話 35-1461



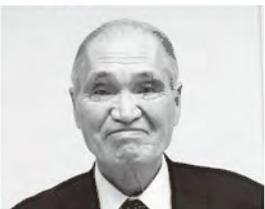
委員 澤田美智雄
高穂・更新
電話 35-1762



委員 土田信夫
共成・東予
電話 35-3183



委員 吉川健一
北竜1・2・3
電話 35-3034



委員 須網賢一
中央・恵比島・幌比里
電話 35-3298



主任児童委員 辻よし子
町内一円
電話 35-1698



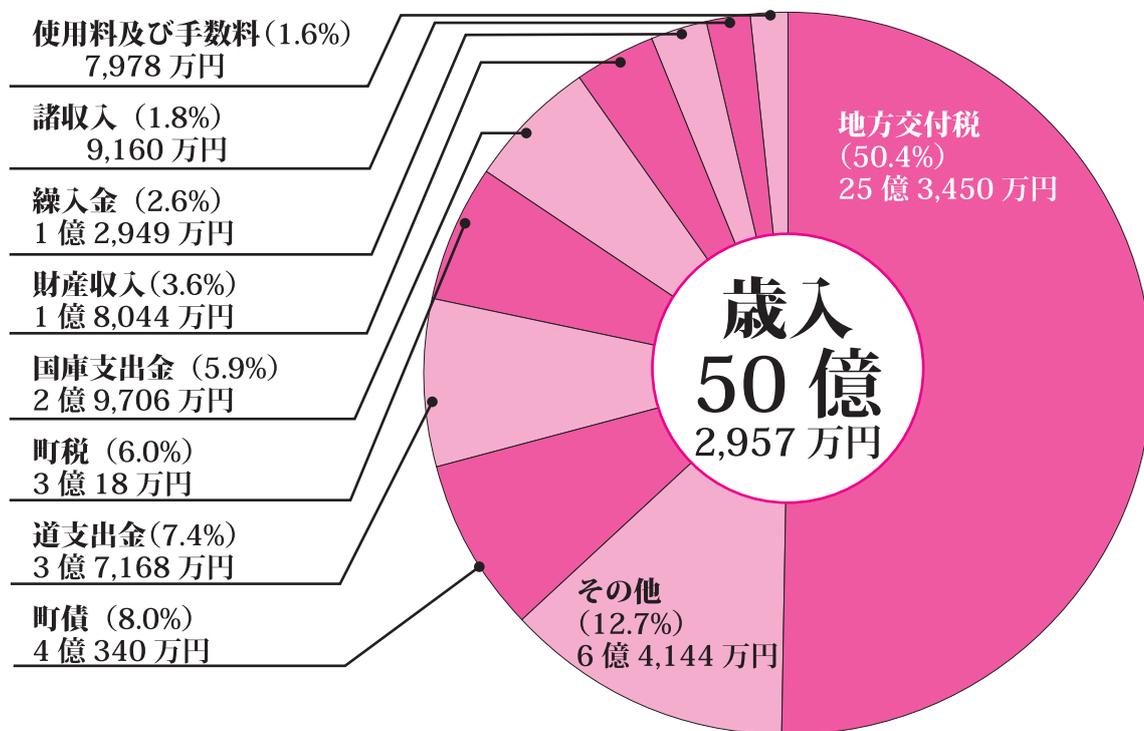
主任児童委員 徳盛千穂子
町内一円
電話 35-2158

民生委員協議会 役員
 会長 須網賢一
 副会長 石川晶子
 副会長 前川満志
 監事 植田秀雄
 監事 吉田由比己
 事務局
 役場保健福祉課福祉グループ
 電話 35-2120

新たに柏博孝さんが任命され、岡部幸雄さんが退任されました。退任された岡部幸雄さん、地域住民の為に、ありがとうございました。再任・新任された委員の皆様、今後共よろしくおねがいします。

平成27年度 町の決算

まちの家計簿といえる平成27年度決算を公表します。
町民みなさんから納めていただいた税金や国、道からの補助金等がどのように使われているかをお知らせするものです。
年々、厳しくなる財政状況の中、節減に努め効率的な財政運営を行ない財源確保に最大の努力を図っていききたいと思
いますので、町の行政について、皆さんの一層のご理解とご協力をお願い致します。



町税の負担状況 人口3,208人(28年3月末)

税区分	決算額	構成比	町民一人当たり
町民税	1億3,135万円	43.8%	40,945円
固定資産税	1億2,971万円	43.2%	40,433円
軽自動車税	827万円	2.8%	2,578円
たばこ税	2,083万円	6.9%	6,493円
入湯税	1,002万円	3.3%	3,123円
合計	3億 18万円	100%	93,572円

借入金の状況 (一般会計分)

区分	平成27年度末現在高
農林水産	2,573万円
土木	3,607万円
公営住宅	5億1,108万円
公共事業等	8,372万円
過疎対策事業	13億3,164万円
一般会計出資債	1,114万円
緊急防災・減災事業債	1億9,467万円
臨時財政対策債	6億3,688万円
その他	5,347万円
合計	28億8,440万円

町有財産の状況 (平成27年度決算現在高)

土地	5,438.333㎡
建物	111.050㎡
山林	3,554,824㎡
車輛	78台
絵画	2点
有価証券	508万円
出資金等	3,524万円
基金(一般会計分)	32億2,907万円
備荒資金組合納付金	5億1,724万円

一般会計

一般会計の決算額は歳入が、50億2,957万円、歳出49億2,233万円、差し引き1億2,734万円の黒字決算となりました。

町民の皆さんが納めた町税は3億18万円で1人当りは

9万3,572円負担したことになります。

これに対し、1人当たりに使われた費用は1億5,281,270円で黒字決算とはいえ依然、自主財源に乏しくその大半を地方交付税や町債(町の借金)に頼る財源内容となっております。

※備荒資金組合納付金・災害による減収補てん・災害応急復旧事業費やその他災害に伴う費用にあてるために、道内の市町村が一部事務組合を設立し積立を行っているもので、使い道が災害関連等に限定される普通納付金と、使い道に制約の無い超過納付金に分けられています。

用語の解説

- 総務費…町の内部管理・税務・戸籍・選挙・統計などに要する経費です。
- 民生費…障がい者や高齢者等に対する福祉の充実、保育園運営などの経費です。
- 衛生費…生活環境の保全、ごみ処理などにかかる経費です。
- 農林水産業費…農業の振興に要する経費、生産基盤の整備などに要する経費です。
- 商工費…企業の振興及び夜高あんどん祭りなど観光の振興などに要する経費です。
- 土木費…道路維持改修、除排雪、公営住宅などに要する経費です。
- 教育費…幼稚園、小中学校の教育の充実、文化・スポーツの振興などに要する経費です。
- 公債費…町の事業を行うために借り入れた資金の返済に充てる経費です。
- 諸支出金…基金の積立金などに要する経費です。
- 職員費…職員給与などを支払う経費です。
- その他…議会費、消防費などの経費です。

商工費 (2.1%)
1億383万円

教育費 (3.9%)
1億9,309万円

衛生費 (5.2%)
2億5,536万円

その他 (5.4%)
2億6,427万円

諸支出金 (10.3%)
5億388万円

公債費 (10.6%)
5億1,941万円

土木費 (11.5%)
5億6,220万円

歳出
49億
223万円

民生費
(14.3%)
7億210万円

職員費
(13.2%)
6億4,565万円

総務費
(11.8%)
5億7,656万円

農林水産業費
(11.7%)
5億7,588万円

※特別会計と公営企業会計は、税・使用料・負担金・国道支出金のほか一般会計からの繰入金等で運営がなされ、効率的運用に努めています。

地方公営企業とは、地方公共団体が地域住民の福祉の増進を目的として経営する企業です。

公営企業会計

特定の事業に使われる経費を一般の歳入歳出と区分して経理する会計です。

特別会計

特別会計

会計別	歳入	歳出
養護老人ホーム	3億1,240万円	2億7,312万円
特別養護老人ホーム	2億9,113万円	2億7,564万円
高齢者グループホーム	4,005万円	3,698万円
介護保険	3億5,353万円	3億3,459万円
国民健康保険	4億6,470万円	4億3,562万円
後期高齢者医療	5,455万円	5,448万円
公共下水道	2億850万円	2億750万円
合計	17億2,486万円	16億1,793万円

公営企業会計

会計名	区分	決算額	
水道事業会計	収益的	収入	1億3,087万円
		支出	1億4,365万円
	資本的	収入	240万円
		支出	4,831万円

平成28年度上半期 収支状況

平成28年度の上半期（4月～9月）の収支状況をお知らせ致します。限られた財源のなかで健全財政を堅持しつつ町民生活の向上を重点に、行財政の効率的な運営に努めています。この公表を通じ、町の財政がどのような状況にあるかをご覧いただき、住みよいまちづくりに関心を持っていただくことにも一層のご理解とご協力をお願いします。

歳入

執行率
42.3%

予算額：56億3,615万円
収入済額：23億8,291万円

歳出

執行率
31.4%

予算額：56億3,615万円
支出済額：17億7,110万円

3億1,235万円 1億5,426万円 (49.4%)	町税
19億5,612万円 16億798万円 (82.2%)	地方交付税
8,568万円 3,786万円 (44.2%)	使用料及び手数料
2億6,667万円 2,946万円 (11.0%)	国庫支出金
5億8,013万円 1億9,094万円 (32.9%)	道支出金
1億7,674万円 6,792万円 (38.4%)	財産収入
8億4,884万円 (0.0%)	繰入金
1億654万円 910万円 (8.5%)	諸収入
6億1,890万円 — (0.0%)	町債
6億8,418万円 2億8,539万円 (41.7%)	その他

※上段が予算額、下段が収入・支出済額で（ ）は執行率です。

6億1,425万円 1億5,168万円 (24.7%)	総務費
6億8,769万円 2億6,623万円 (38.7%)	民生費
4億4,325万円 1億2,861万円 (29.0%)	衛生費
10億4,236万円 2億2,372万円 (21.5%)	農林水産業費
3億5,231万円 1億1,917万円 (33.8%)	商工費
5億9,885万円 2億1,590万円 (36.1%)	土木費
2億4,198万円 8,332万円 (34.4%)	教育費
3億9,279万円 1億9,696万円 (50.1%)	公債費
4億672万円 43万円 (0.1%)	諸支出金
6億3,369万円 3億4万円 (47.3%)	職員費
2億2,226万円 8,504万円 (38.3%)	その他

町税の収入状況

税区分	予算額	調定額	収入済額	収歩 入合
町民税	1億3,758万円	1億5,140万円	5,069万円	33.5%
固定資産税	1億3,618万円	1億4,057万円	7,909万円	56.3%
軽自動車税	981万円	976万円	960万円	98.4%
たばこ税	1,885万円	1,014万円	1,014万円	100%
入湯税	993万円	474万円	474万円	100%
合計	3億1,235万円	3億1,661万円	1億5,426万円	48.7%

特別会計

会計別	予算額	収入済額	支出済額
養護老人ホーム	3億492万円	1億6,456万円	1億585万円
特別養護老人ホーム	3億916万円	1億1,540万円	1億2,600万円
高齢者グループホーム	4,165万円	1,711万円	1,627万円
介護保険	4億199万円	1億6,383万円	1億4,147万円
国民健康保険	5億6,365万円	2億2,408万円	2億3,533万円
後期高齢者医療	5,581万円	1,322万円	1,389万円
公共下水道	2億3,235万円	9,385万円	9,023万円
合計	19億953万円	7億9,205万円	7億2,904万円

公営企業会計

会計名	区分	予算額	執行額
水道事業会計	収益的	収入	2億833万円
		支出	2億1,880万円
	資本的	収入	142万円
		支出	3,273万円

町債の借入予定

事業名	借入予定額
過疎対策事業債	4億9,670万円
沼田町立診療所医療機器購入事業	9,250万円
除雪センター第2車庫整備事業	7,290万円
旭町幹線舗装補修事業	880万円
高穂幹線高穂1号橋補修事業	860万円
高規格救急自動車購入事業	2,540万円
地域密着多機能型総合センター建設事業（地域あんしんセンター）	5,220万円
地域密着多機能型総合センター建設事業（総合通所サービスセンター）	9,100万円
米穀低温貯留乾燥調施設整備事業	1億4,530万円
公共事業等債	1,250万円
経営体育成基盤整備事業	1,250万円
臨時財政対策債	1億970万円
合計	6億1,890万円

沼田町の財政状況を 家計に例えたら・・・

沼田町の財政を家計に例えたら、年収約306万円（税収・税外収入）と親からの仕送り約195万円（地方交付税）を合算した約501万円が年額収入となり、このうち約39万円は借金の返済（公債費）に充てなければならず、実際に可処分所得として使えるのは約462万円となります。一方、この家計は、家計費（一般歳出）として年間約524万円を必要としており、収入でまかないきれない約62万円は、借金（公債金収入）として調達しなければなりません。その結果平成28年度末には、ローン残高（公債残高）は約315万円、貯金残高（基金残高）は約278万円となっています。

家計に例えた場合

○1世帯年収	306万1,130円
○親からの仕送り	195万6,120円
○ローン元利払（B）	39万2,790円
○可処分所得【年収+仕送り-（B）】	462万4,460円
○家計簿	524万3,360円
○不足分=借金	61万8,900円
例：自動車購入	
※除雪機購入等の必要な経費の不足分（可処分所得の不足分）を補うのが借金です。	
○ローン残高予定	314万5,540円
○貯金残高予定	278万3,490円

平成28年度財政状況【一般会計】

○税収+税外収入	30億6,113万円
○地方交付税	19億5,612万円
○公債費（A）	3億9,279万円
○税収等+地方交付税-（A）	46億2,446万円
○一般歳出	52億4,336万円
○町債収入	6億1,890万円
例：高規格救急自動車購入事業	
※毎年必要なお金でなく、臨時的に必要な多額の事業費の財源とするのが町債です。	
○町債残高予定（H28年度末）	31億4,554万円
○基金残高予定（H28年度末）	27億8,349万円

財政推移

地方交付税の推移

平成27年度の地方交付税額（普通交付税、特別交付税）は、25億3450万円で昨年（25億1914万円）より1536万円増加しました。

また、平成12年度が地方交付税額のピークの年（29億3441万円）であり、比較すると約86.4%の水準となっております。

町債（まちの借金）の推移

平成27年度末の町債（借金）残高は、28億8440万円でH26年（29億6706万円）より8266万円減少しました。

ピーク時だった平成13年（68億7133万円）と比較すると約40億円減少しています。

性質別経費（歳出）の推移

義務的経費は法律で支払が義務付けられているもの、収入が減っても簡単に減らせないもので、人件費（職員給与や議員、委員の報酬など）、扶助費（生活困窮者、児童、老人、障がい者等支援の経費）、公債費（借入金の返済に要する経費）などです。

投資的経費は道路の基盤整備、公共施設の建設、災害復旧費や用地取得などの資産形成に係る事業に要する経費などです。

その他は、公共物の維持や補修などの経費です。

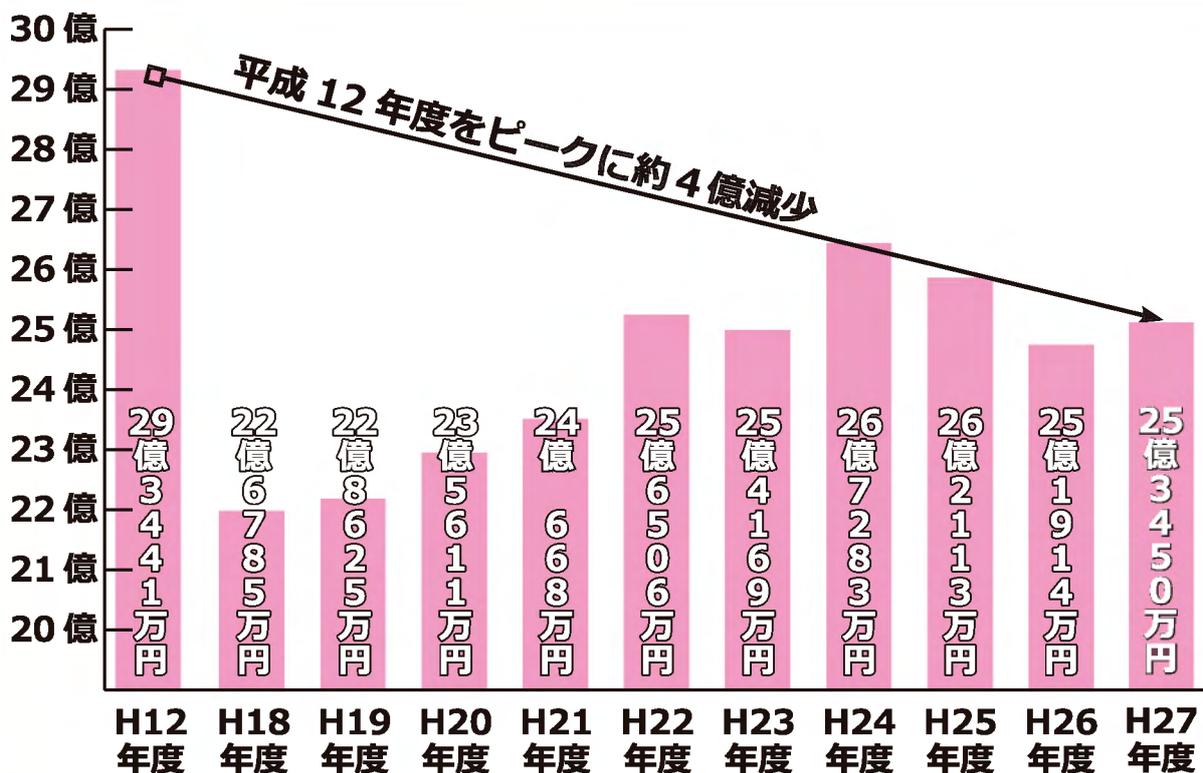
基金（まちの貯金）の推移

財政調整基金とは、災害復旧、その他緊急を要し、又は必要やむを得ない財政需要に応ずる財源を積立てるための基金です。

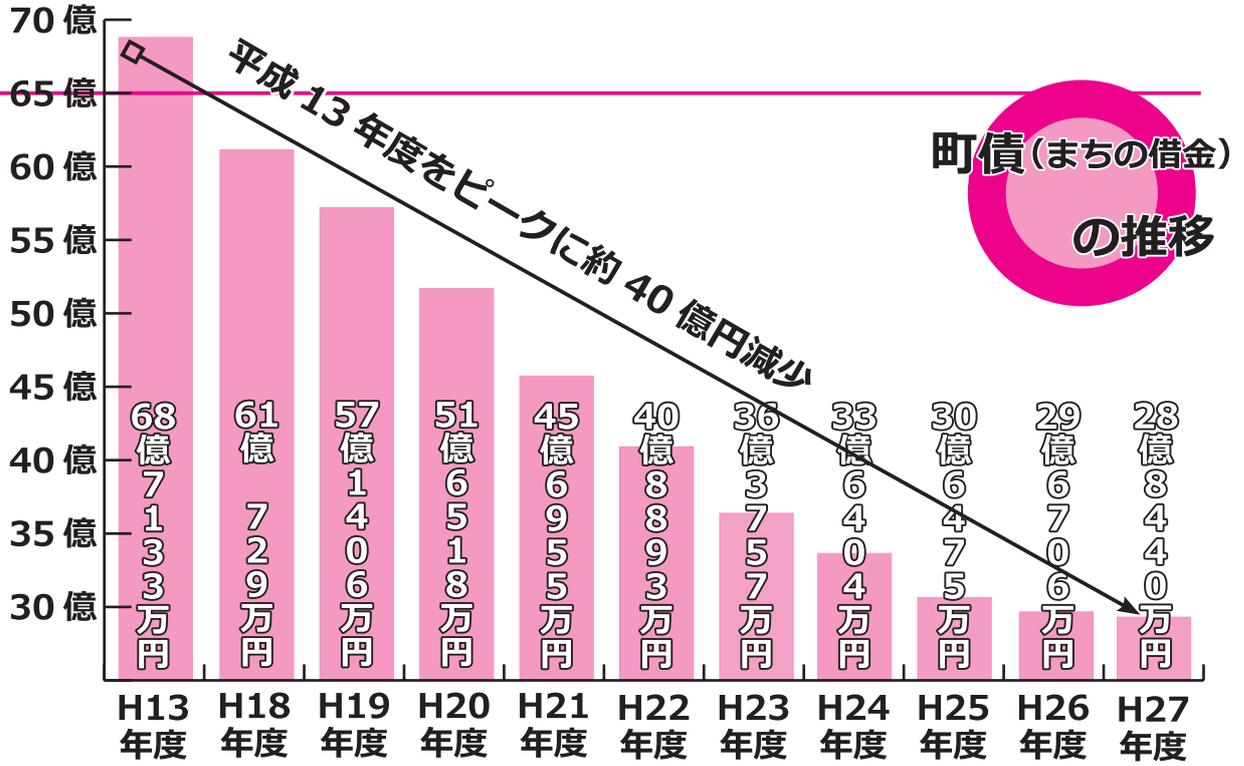
減債基金とは、町債の償還に必要な財源を確保し、もって将来にわたる町財政の運営に資するための基金です。

平成27年度は、ふるさとづくり基金指定寄附金の増加により、年度末基金現在高が増加しています。

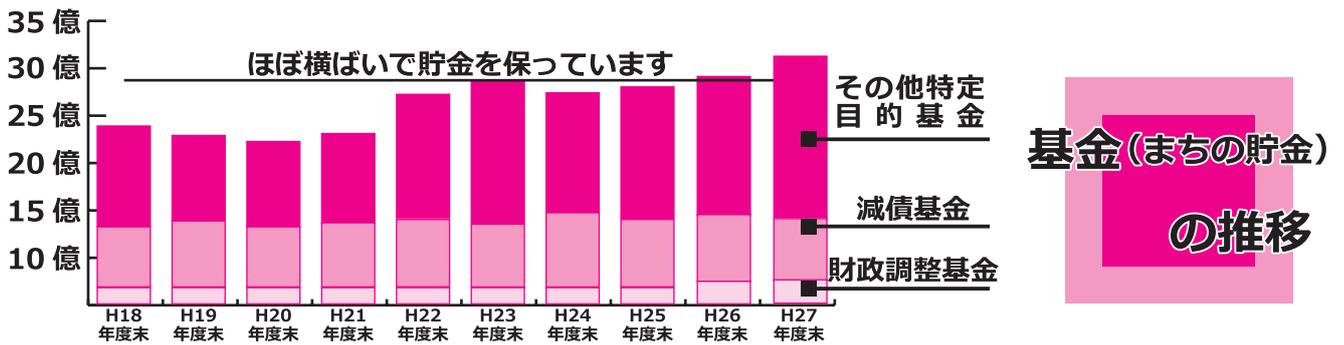
地方交付税の推移



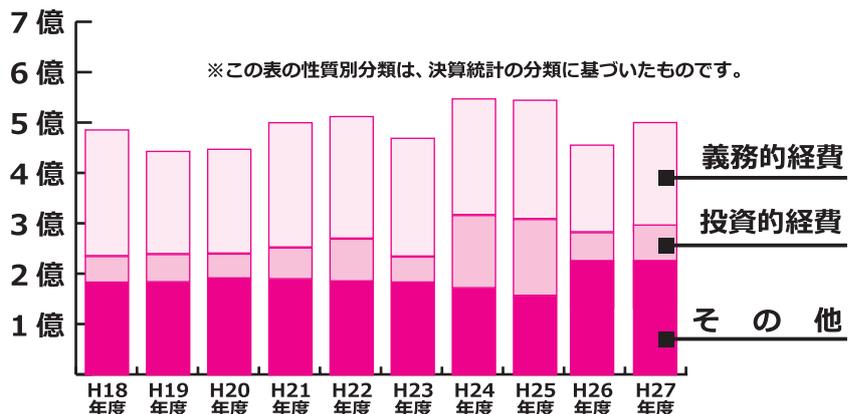
まちの家計簿



年 度	財政調整基金	減債基金	その他特定目的基金	年度末基金残高
平成18年度末	3億7,515万円	9億3,174万円	11億3,737万円	24億4,426万円
平成19年度末	3億1,559万円	9億4,385万円	11億3,408万円	23億9,352万円
平成20年度末	3億1,598万円	8億6,746万円	11億723万円	22億9,067万円
平成21年度末	3億1,632万円	6億8,219万円	13億5,413万円	23億5,264万円
平成22年度末	3億9,642万円	6億4,196万円	15億8,794万円	26億2,632万円
平成23年度末	3億3,478万円	6億6,898万円	18億2,420万円	28億2,796万円
平成24年度末	3億3,513万円	6億9,280万円	16億1,196万円	26億3,989万円
平成25年度末	3億7,597万円	7億1,663万円	16億5,616万円	27億4,876万円
平成26年度末	4億8,600万円	6億4,650万円	17億2,390万円	28億5,640万円
平成27年度末	4億1,648万円	6億4,717万円	21億6,542万円	32億2,907万円



性質別経費 (歳出) の推移



総括

●人件費の状況【平成27年度（普通会計決算）】

歳出額	実質収支	人件費	人件費率	前年度
50億7,002万円	1億5,033万円	6億9,921万円	13.8%	14.9%

●職員給与費の状況【平成27年度（普通会計決算）】

職員数	給料	職員手当	期末・勤勉手当	合計
84人	2億6,004万円	5,747万円	1億884万円	4億2,635万円

●ラスパイレス指数（一般行政職）

平成22年度	平成26年7月1日	平成27年度
96.8	97.3	97.3

※ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数です。

職員数の状況

●年齢別職員構成の状況（平成28年4月1日現在）

区分	20歳未満	20歳～23歳	24歳～27歳	28歳～31歳	32歳～35歳	36歳～39歳	40歳～43歳	44歳～47歳	48歳～51歳	52歳～55歳	56歳～59歳	60歳以上	計
職員数	2人	6人	21人	11人	13人	10人	17人	12人	12人	4人	9人	0人	117人

●部門別職員数の状況（平成28年4月1日現在）

区分	職員数		
	平成28年	平成27年	対前年比
議会	2	2	0
総務・企画	21	21	0
税務	3	3	0
民生	21	19	2
衛生	7	8	△1
農林水産	10	9	1
商工	4	5	△1
土木	5	5	0
教育	11	14	△3
水道	1	1	0
下水道	1	1	0
その他	31	35	△4
合計	117	123	△6
	(138)	(138)	-

※（ ）は、条例で定めている職員の数です。その他は特別養護老人ホーム、介護保険事業、国保関係の人数です。

職員の平均給与月額・初任給等の状況

●職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況（平成28年4月1日現在）

平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
40.6歳	30万6,113円	38万 385円

●職員の初任給の状況（平成28年4月1日現在）

区 分	初任給	
一般行政職	大学卒	17万8,200円
	高校卒	14万6,100円

●職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況（平成28年4月1日現在）

区 分		10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満
一般行政職	大学卒	-円	30万4,400円	35万7,600円
	高校卒	24万 400円	26万4,100円	31万8,600円

職員手当の状況

●期末手当・勤勉手当（平成27年度）

平均支給額	27年度支給割合		加算措置の状況
132万円	期末手当	勤勉手当	役職加算5%～15%
	2.6月分	1.6月分	

●退職手当（平成28年4月1日現在）

勤続20年		勤続25年		勤続35年		最高限度額
自己都合	勸奨・定年	自己都合	勸奨・定年	自己都合	勸奨・定年	49.59月分
20.45月分	25.56月分	29.15月分	34.59月分	41.33月分	49.59月分	

●特殊勤務手当（平成27年度）

支給実績	平均支給額	手当支給職員の割合	手当の種類
104万円	3万7,214円	23.93%	1種類

●時間外手当

区 分	支給実績	平均支給額
26年度決算	2,020万円	20万8,000円
27年度決算	2,485万円	21万2,000円

特別職の報酬等の状況

（平成28年4月1日現在）

区 分		給料月額・月額報酬	期末手当
給 料	町 長	78万9,000円（83万円）	4.20月分
	副 町 長	64万2,000円（66万9,000円）	
	教 育 長	57万6,000円（59万4,000円）	
報 酬	議 長	26万8,000円	4.20月分
	副 議 長	21万2,000円	
	常 任 委 員 長	19万4,000円	
	議 会 運 営 委 員 長	19万4,000円	
	議 員	17万7,000円	

※給料の（ ）は減額措置を行う前の金額です。

1 医療と介護の両方を利用している世帯には負担軽減があります

医療と介護の両方を利用している世帯の自己負担を軽減するために高額介護合算療養費制度があります。

この制度は、同じ世帯の被保険者が、「病院にかかったとき」と「介護サービスを利用したとき」の1年分の自己負担額の合計が表の基準額（限度額）を超えた場合は、超えた額が支給されるものです。なお、対象と考えられる世帯へは北海道後期高齢者医療広域連合から申請書が送付されますので、印鑑、通帳を持参し保健福祉課保険グループで申請をして下さい。

- 後期高齢者医療制度または介護保険の自己負担額のいずれかが「0円」の場合は対象となりません。
- 支給額が500円未満の場合は支給されません。
- 夫が介護のみ妻が医療のみで算定基準を超えた場合も対象となります。

◆自己負担限度額表【1年分の自己負担額の計算期間：8月1日～翌年7月31日】

負担割合	区 分		自己負担額の合計の基準額
3割	現役並み所得者		67万円
1割	一 般		56万円
	住民税非課税世帯	区分Ⅱ※1	31万円
		区分Ⅰ※2	19万円

※1：世帯全員が住民税非課税である方

※2 世帯全員が住民税非課税であり、世帯全員の所得が0円（公的年金収入のみの場合、その受給額が80万円以下）、または高齢福祉年金を受給している方

○申請される方は、保健福祉課保険グループまでお申し出ください。

【申請に必要な物】 ①広域連合から送付される申請書 ②印鑑（シャチハタ以外） ③通帳

2 医療費通知を全受診者へ送付します

北海道後期高齢者医療広域連合では、皆様の医療費を半年ごとにまとめ、ご希望の方を対象に医療費通知を送付していましたが、平成28年9月分より全受給者（平成28年1月～6月に受診された方）に送ります。なお、発行時期は従来の9月と翌年3月に変更ありません。

【イメージ図】

受診年月	診療を受けた医療機関等	診療区分	日数	医療費総額	自己負担額
H28年1月	〇〇病院	医科外来	1	18,000	1,800
H28年2月	××薬局	調剤	1	10,000	1,000
合 計				28,000	2,800

※ 確定申告（医療費控除）の際の添付資料としては使用できません。

※ この通知は皆様の受診状況についてお知らせするもので請求書ではありません。

◆ 医療費通知の活用について

- 医療費の推移が一目でわかるため、ご自身の健康状態の把握や健康管理に活用できます。
- インフルエンザ予防や健康診査など、皆様の健康保持・増進に役立つ情報が記載されています。
- 診療日数等に間違いがないか確認しましょう。

◆後期高齢者医療制度に関するお問い合わせ先◆

◆北海道後期高齢者医療広域連合

住所 〒060-0062
札幌市中央区南2条西14丁目
国保会館6階
電話 011-290-5601

◆保健福祉課保険グループ

電話 35-2120

イクメン・イクママを目指す中学生！！

沼中生と赤ちゃんのふれあい



沼田町では、平成 21 年度より中学生を対象に『思春期健康教育』を実施しています。思春期のからだやこころの変化を学び、自分自身を大切にしていけるよう、中学校と協力して取り組んでいます。



- 中学生のコメント -

- ・手を握ってくれて、かわいかった♪
- ・赤ちゃんがもっと好きになった♪
- ・親の大変さがわかった。
- ・育児は大変だけど、楽しそうだった！



- お母さんのコメント -

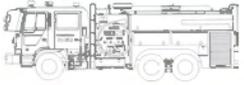
- ・毎日大変だけど、嬉しいこともたくさんあるよ！
- ・町で会ったら、一緒に遊んでね♪
- ・一生懸命抱っこしてくれて、うれしかった♪
- ・将来、親になることを楽しみに思っています。



事前アンケートでは、赤ちゃんとのふれあう機会のない生徒が約半数もいました。はじめは慣れないため消極的でしたが、徐々に抱き方が上手くなり、笑顔が増え、楽しそうに赤ちゃんとのふれあっていました♪

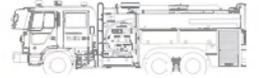
自分も大切に育てられたことや育児の楽しさや大変さを学びました！

【保健福祉課健康グループ 担当：鈴木】



消 報

深川地区消防組合深川消防署
沼田支署予防担当 ☎ 35-2050



平成29年 沼田消防出初式の挙行について

平成29年1月10日（火）の13時30分から、役場庁舎前において消防職団員約100名が集まり開催されます。号令によって職団員がきびきびと動く様子や、沼田消防団ラッパ隊の吹奏が見所です。分列行進も本通三丁目をメイン会場として行いますので町民の皆様も是非ご観覧ください。



※この写真は、平成28年の出初式の様子です！

新高規格救急自動車の導入について

平成28年11月30日（水）新高規格救急自動車の運用が開始されました。今回導入された新高規格救急自動車は前救急車に比べ、心臓マッサージシステムなど最新の救急医療機器が備えられ、より高度な救急救命を施すことが可能となります。赤色回転灯もすべてLEDに変更され他車からの視認性が向上されています。



大切な家族や財産を守るため、住宅用火災警報器を設置しましょう。
『後にしよう その油断が 火事になる』



冬道での事故防止

～ ストップ・ザ・交通事故 めざせ安全で安心な北海道～

【余裕を持った運転を】

冬道は天候状況や積雪による渋滞が発生するなど到着するまでに時間がかかります。目的地までの天気や道路状況を事前に把握して、時間に余裕を持って出発しましょう。

【スピードダウンと慎重な運転を】

冬道では、スリップによる正面衝突の死亡事故が多発しています。スピードダウンと路面状況にあわせた慎重な運転を心がけましょう。

【「急」のつく運転操作は危険】

急発進、急加速、急ハンドル、急ブレーキといった「急」のつく運転操作はスリップに繋がり危険です。スピードダウンや早めのブレーキなど、慎重な運転を心がけましょう。

【悪天候に注意】

吹雪や大雪など悪天候時の運転は、吹きだまりや視界不良による立ち往生等の危険が伴いますので、不要な外出は控えましょう。

やむを得ず車で外出するときは、事前に道路状況を確認するとともに、防寒具やスコップ等を準備しましょう。

違法・迷惑駐車防止

～ やめましょう みんなが困る 迷惑駐車 ～

【緊急車両の活動を妨げます】

狭い道路に違法駐車があるときは、他の車両が通行不能となります。特に、消防車や救急車などの緊急車両の活動を妨げ、人命救助に重大な影響を与えます。

【除排雪作業などの障害となります】

違法駐車が除排雪の進行や除排雪作業の妨げとなり、住民に迷惑をかけ、生活にも重大な影響を与えます。

110 番通報の適切な利用の促進

警察相談専用電話「# 9110」等の紹介と周知について

～ 緊急通報は 110 番、相談電話は「# 9110」に～

110 番は、緊急の事件・事故などを、いち早く警察へ通報するための緊急電話です。

110 番に出た警察官が、事件・事故の内容に基づいて必要な事項を質問します。慌てず落ち着いて正しく答えて下さい。

警察官がいち早く現場に到着できるよう、その場所の住所や付近の目標となる建物などを正しく伝えて下さい。

相談や警察業務に関する意見・要望は、短縮ダイヤル「# 9110」の警察相談専用電話をご利用下さい。短縮ダイヤルを利用できない場合は、下記の番号におかけください。

旭川方面本部・・・0166-34-9110

犯罪の発生状況

(平成 28 年 1 1 月末現在)

	空き巣	事務所 荒し	出店荒し	万引き	置引き	鉄板盗	自動車・ オートバイ盗	自転車盗	車上狙い	部品 ねらい	詐欺	軽油 灯油盗	その他	合計
平成 28 年				1				1	1	1			6	10
平成 27 年	1	2						1	2				3	9

交通事故の発生状況 (平成 2 8 年 1 1 月末現在)

町内における交通事故件数

人身事故		物損事故	
平成 28 年	1	平成 28 年	5 4
平成 27 年	4	平成 27 年	4 9

町民が町外で第 1 当事者と

なった人身事故件数

平成 28 年	1
平成 27 年	2

❀ めまた女性フェスタ 2016 開催 ❀

生涯
学習

ゆめ
つくる

11月13日(日) めまた女性フェスタが開催されました。町内の女性団体同士の交流や親睦のために2003年から始まった事業で、今回で14回目となりました。

今回は、お米の試食コーナー、軽食コーナー、喫茶コーナー、フリーマーケット等が1階会場に並び、列が出来るほどの賑わいでした。

2階の体験コーナーでは、サークル団体が講師となり、日頃の活動を体験してもらうために企画したコーナーの他、町内で活躍されている女性の方の持っている資格を活かし、講師を務めていただいたコーナーもあり、参加者は「普段体験することの出来ないことが出来るので、思い切って挑戦したい」と楽しみながら参加していました。

また、女性農業者の交流ネットワーク「Links」を立ち上げ活躍されている、美唄市在住の内山佳奈さんの講演会を行い、女性という立場から感じた「つながりの大切さ」についてお話しをしていただきました。

最後は町内サークルの活動紹介ステージショーでフィナーレをかざり、子どもからご年配の方までが集い、会場が賑わいました。



ゆめつくる紹介コーナー (定期利用団体編⑥)

フィットネス教室

バランスボール、ヨガ、ストレッチポール等を使い、体脂肪の燃焼に効果的なエクササイズを行います。

是非気軽にお越し下さい。

■活動日

第2・3月曜日

午後7時から午後8時30分

■場所

ゆめつくる 和室

○代表 一般社団法人 N-link.

森田 弘美

(連絡先 35-2709 町民体育館内)



HIP HOPダンススクール

今話題の『HIP HOPダンス』です。子どもから大人まで、気軽に楽しく踊ることができます。見学やお試し体験もお待ちしております。

■活動日

第2・4火曜日

午後6時30分
から午後8時

■場所

ゆめつくるホール

○代表 一般社団法人 N-link.

森田 弘美

(連絡先 35-2709 町民体育館内)



司書のイチホン!

『おまもり』

クリスマスが過ぎると、あっという間にお正月ですね。

お正月は神社へ詣でてお参りした後は、おみくじをひいたり、おまもりを授かる方も多いと思います。そこで今回は、おまもりや福のものに関する本を紹介します。

まず紹介するのは「にほんのかわいいおまもり」です。こちらの本は、全国各地のかわいらしいおまもりが載っています。出会い・幸せ・学業など様々なおまもりがあり、見るだけでも楽しいものです。北海道からは札幌市にある弥彦神社と西野神社のおまもりが載っています。

次に紹介する本は福があるとされているものを紹介した「ふくもの」です。招き猫やだるま、シーサーなどがマンガも交えながら紹介されていて読みやすい本です。

今回紹介した本以外にも、おまもりやラッキーアイテムの本など、図書館にはおまもりに関する本があります。

お正月の時期、おまもりや福のものに関する本を読んで、色々な福を探してみませんか。年内の図書館は12月29日(木)まで開館しています。楽しいお正月を迎えるために、ぜひ図書館の本を活用してください。



新刊図書

《一般書》

ほむら	有吉 佐和子
仮面兵団	田中 芳樹
神さまのいる書店2	三萩 せんや
堤清二 罪と業	児玉 博
小学生バレーボール基本と上達ドリル	小野 由美子

部活でもっとステップアップ

吹奏楽上達のコツ50	富田 貴生
新怖い絵	中野 京子
ある夜のダリア	内館 牧子
綴られる愛人	井上 荒野
刀剣聖地めぐり	一迅社

《児童書》

きえた!? かいけつゾロリ	原 ゆたか
かいけつゾロリのおいしい金メダル	原 ゆたか
ルルとララのようこそタルト	あんびる やすこ
知ってる? 野球	関口 勝己
おばけマンション	村上 康成

新刊図書おすすめ!!

『恋の Gondola』

東野 圭吾



結婚を目前に控えた広太は浮気相手とスノーボードに来ていた。ところが、Gondolaで婚約者と乗り合わせて…。東野圭吾が“恋愛”という永遠のミステリーに真っ向から挑む短編集。

『はこ (怪談えほん)』

nakaban



このはこ、なんだっけ? あかない はこ。ふると、“コソコソ” おとがする。「はこ」と「女の子」をめぐる、静かな恐怖の物語。あなたを恐怖の世界へとじこめる。

家から図書館の本を検索しよう

図書館にある本をインターネットで検索できるようになっています。また、他市町村にある図書も検索できます。沼田町教育委員会のブログのリンク集からどうぞ。

<http://blog.canpan.info/numakyoui/>

Cover

—表紙の写真—



来年の干支「酉年」の小学生に集まってもらい撮影しました。
【12月 8日撮影】

まちの情報をいち早くキャッチ!!

町のホームページにおいて、まちの話題を随時更新しています。いち早くご覧になることが出来ますので是非、ご覧下さい。

<http://www.town.numata.hokkaido.jp/>



QRコードもご利用下さい。

人の動き

(平成28年11月30日現在)

人口 3,196人 (前月比 △5人)
男性 1,510人 (前月比 △1人)
女性 1,686人 (前月比 △4人)
世帯数 1,534世帯 (前月比 1世帯)

■総人口増減内訳

増加) 転入: 3人 出生: 1人
減少) 転出: 4人 死亡: 5人

交通事故死ゼロ

(平成28年12月22日現在)

1,628日継続中!!

氏名	死亡月日	年齢	住所
鷺尾 晃一さん	11月18日	84歳	旭町西
稲葉トキ子さん	11月19日	82歳	和風園
瀧本よし子さん	11月22日	85歳	市内3
廣野由美子さん	11月24日	50歳	市内3
石脇 義夫さん	11月26日	86歳	緑ヶ丘
若山 時雄さん	12月1日	93歳	旭町東
武知 常吉さん	12月4日	100歳	旭町西

おこやみ

広報担当のつばやき

新年あけましておめでとうございます。
今年も、昨年以上にわかりやすく、見やすい紙面づくりを心がけますので、本年もよろしくお願ひします。

さて、酉年の今年はどんな年になるのでしょうか？酉のつく年は商売繁盛に繋がると考えられているそうです。酉(トリ)は「取り込む」に繋がると言われており、そこから運氣もお客も取り込めるという意味があるそうです。

また、酉の由来に「果実が極限まで熟した状態」ともい、物事が頂点まで極まった状態が酉年とも言われています。

今年も、新しい商業施設が完成し、新しい店舗が出来上がります。商売繁盛と言われる縁起の良い年にオープンするので期待満点ですね。また、「地域密着多機能型総合センター」の完成など、本町にとって今年には活気に溢れた良い年になる事と思ひます。

広報情報グループ (森田)